

Being artisans of hope. 希望とは大胆なもの 校長 Sr. 大山 江理子



フキノトウ

立春ももうすぐ。寒さの中にもフキノトウを見つけました。例年なら2月の初めには学習発表会を行います。保護者の皆さまに児童の学習の成果を見ていただく大切な行事ですが、今年は Zoom や動画でご覧いただくことにいたしました。学習発表会の日、初等科全体がお子さんと連れ立って展示物を参観される保護者で賑わい、ソフィアバラホールの舞台での児童の発表を皆さまで楽しむ機会となるはずのところ、とても残念です。とは言え、児童は生活やみこころの時間に取り組んできたことを見ていただこうと、張り切って準備を進めています。

2月はまとめとふりかえりの時です。今年度の春は思いがけない始まりとなり、例年と異なる動きも多く、ふりかえてみると様々なことが思い出されることでしょう。子どもたちには、もうずっと前のこと、になっているかもしれません。今、制限された中でも学校生活を毎日続け、日常のペースを保っているときに、日々の小さな歩みを大切にふりかえることも大事です。子どもたちには、毎日の出来事をまわりの人に気づいてもらうこと、見てもらうこと、声をかけてもらうことが大きな励みになります。日々の小さな関わりから、子どもたちは支えや温かさを感じ、力を得ていきます。指示されたり、注意されたり、あるいは叱られたり、ではない、普通の関わりから、子どもたちは自ら先に進んでいく安心を得ることができます。家族が歩みを見てくれていると感じることが、子どもたちのふりかえりを支えます。



今年度の学校目標は「Being artisans of hope. 希望の作り手になる」です。教皇フランシスコが希望について語る言葉をみつけました。「希望とは大胆なものです。…恐れずに大きな夢を抱き、希望から生まれる正義と社会的愛という理想を求めつづけましょう。」(一般謁見演説2020年9月23日より) 教皇フランシスコの語る希望は、一人の個人にとどまらず、世界全体を被う大きさです。そして、希望なのですから、大胆に希望してよいのです。子どもたちが作っていく希望が大胆で、恐れなく、大きなものとなるように、私たち大人は子どもたちを見守っていきたいものです。見てもらうことが大好きな子どもたちです。子どもの努力やチャレンジ、希望の育つ芽に気づく目をもって、見守ってまいりましょう。



クリスマスカードのお礼状

12月には釜石へのクリスマスカードのご協力ありがとうございました。釜石市の小学校からお礼状が届きました。中高等科のもゆる会が行った高齢者施設へのカードのお礼とともに中高職員室前に掲示してあります。学年ごとに寄せ書き風にメッセージを集めて送ってくださった学校もありました。初等科生のカードを喜んでくださったことが伝わってきます。うれしいお便りでした。皆さまのご協力に感謝いたします。



小学生のお礼状

希望の作り手になる 教頭 吉岡 真左美

5年転入編入生の保護者の皆様に、入学なさってからの感想をアンケートで伺ったところ、次のようなご意見をいただきました。

- ・学校全体ですべての子どもたちを育もうという、温かな愛情を感じている。
- ・お友だちがやさしく、授業も楽しく、生き生きと学校生活を楽しんでいる。
- ・キリスト教の教えを学び、自分のためだけでなく、他者のために祈ることや行動することを意識できるようになった。



4年生：今年の抱負を漢字1文字で表しました。

他にもたくさんのご意見があり、聖心で学んでいくことに希望を持ってくださっていることを感じながら、うれしく拝見しました。保護者の方のお気持ちは自然とお子様に伝わり、お子様も学校生活に希望を持って過ごしていると思います。また、お子様が希望を持って過ごしているから、保護者の方も希望を持っていらっしゃる、とも言えます。



情報もゆる：班で協力して調べ、まとめました。

“希望”という前向きな気持ちは、周りの人を変容させる力があると思います。スポーツ選手が夢に向かってひたむきに努力する姿を見て、私たちも勇気や希望を持つことができます。“希望”は単なる楽観とは違い、強い意志によって生まれます。現在の社会状況を考えると、希望を持ちにくかったり、時には見失いそうになることもあるかもしれません。その中であって、周りの人が希望を持つほどのアクションを自ら起こすことができれば、身近なところから社会は変容していくのではと期待します。

その姿はイエス様であり、マザーバラが聖心の子どもたちに望んでいらした姿です。先日、地下鉄の車内で聖心の児童が席を譲ってくれて感激しましたと、わざわざお電話をいただきました。お電話をいただいたこちらでも感激しましたが、その方は児童の姿から、子どもたちの未来に希望をお持ちになったことなのでしょう。そのお気持ちを学校へ伝えてくださったことで私たちも希望を持つことができましたし、その児童はまさに『希望の作り手』です。



5年生、6年生の研究が仕上がりました。

目標に向かって頑張ったり、自分の好きなことを深く追究したり、自分が相手のためにできることを実行したり、色々な場面で希望は生まれていきます。子どもたちに、そして子どもたちのすぐそばにいる私たち大人にも、希望の作り手のつながりがどんどん広がっていくことを願っています。

4日(木)	午後家庭学習日(私学半日研修)	16日(火)	4年保護者会
8日(月)	2年参観日・保護者会(1-3限)	17日(水)	灰の水曜日
11日(木)	建国記念の日	18日(木)	6年卒研発表会
12日(金)	3年参観日(5,6限)・保護者会 4年まとめのテスト	19日(金)	6年卒研発表会
15日(月)	1年保護者会(3限) 5年みこころ発表・保護者会		初新1年入学前保護者会
		20日(土)	初新5年転入・編入生オリエンテーション
		22日(月)	ハイチデー③
		23日(火)	天皇誕生日